

分類項目	携帯電話修理管理システム
修理品管理	『携帯電話修理データコレクト』

導入業種	携帯電話修理受付センター
主要機器	PC、ラベルプリンタ、ハンディターミナル(Sparklet)、通信ボックス
導入環境 並びに 導入前の問題	<p>修理受付センターの業務において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務が煩雑なためショップから届けられた修理品の把握・仕分けに苦労している ・修理依頼書での修理内容の記入漏れや修理履歴の管理がうまくできない ・返却メーカー別の書類作成も大変である ・修理完返却時にショップ毎の仕分けにも苦労している <p>ショップにおいて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗のイメージを崩さずスマートな管理をしたい

システム概要	<p>携帯電話修理受付時にバーコード (BC) を利用し管理することで、修理受付状況の把握と顧客への返却状況の把握を明確にし、商品の適切な管理をサポートします。また、情報を保管・運用することで統計データ・傾向データをまとめることも可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理受付時バーコード(BC)を発行(携帯 No.を管理 NO.としてBC化)、携帯電話とチェックシートに貼り付ける ・修理内容のチェックシートを作成、チェック項目のBCを読み取りデータをHTへ記録 ・修理品と共にHTをセンターへ送り、修理受付センターでデータを吸い上げる ・センターではデータを基に各種依頼書の作成とメーカー別仕分けを行い、メーカーへ出す
システム構成	<p>The diagram illustrates the system's workflow. It starts with 'Repair Item Reception' (修理品受付) where a repair item and a 'Repair Content Check Sheet' (修理内容チェックシート) are processed. A 'Barcode' (修理品コード) is generated and attached to the item. The barcode is then scanned at the 'Repair Reception Center' (修理受付センター) to record data. The data is collected and sorted by manufacturer (メーカー別仕分). Finally, the items are returned to the manufacturer (メーカー毎に修理作業).</p>

導入による効果	<p>BC管理をすることで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理受付状況の把握と顧客への返却状況の把握が明確になった ・チェックシートをBC化にし利用することで修理内容の漏れが大幅に減った ・修理データをPCへ入力する作業が不要になり効率が上がった ・修理依頼書等の書類発行が楽に出来るようになった ・煩雑な作業が整理でき、作業効率が改善された ・データを保管・分析することで統計・傾向をまとめる事が出来る様になった
---------	--

その他	
-----	--